



まめひここうてい MAMEHICO紫香邸

古き良き建物を守りながら「居場所」を創出

かつて高級住宅地として開発された宮本町の一角に佇む古民家を再生したメンバーシップ制イベントカフェ「MAMEHICO紫香邸」が、令和6年4月にグランドオープンした。同店を運営する株セレンディピティの井川啓央代表は、テレビディレクターやデジタルコンテンツの制作を手掛けた経歴を持つ。平成17年に東京・三軒茶屋で「カフェ マメヒコ」を開業後、顧客とともに畠運営やイベント主催、演劇上演、映画やネット配信の連続ドラマ制作を行うなど、一般的なカフェの営業にとどまらずユニークな活動を展開。令和4年には「お客様とスタッフがとも

に自分たちの居場所としてお店を作つていく」ことをコンセプトに、メンバーシップ制によるイベントカフェ MAMEHICOを東京・銀座と神戸・御影にオープンした。同形態3店目となる紫香邸の名は、強く香る紫の花をつける「桐」に因んでいる。桐生出身で紫香邸の店長を担う星野美津子さんは、自身も当初は三軒茶屋のカフェの一利用客で、イベン

【MAMEHICO紫香邸】
 ●住所／桐生市宮本町3-6-30
 ●電話／0277-46-8982
 ●営業時間／11:30～17:00
 ●定休日／火・水・木曜日（原則）
 ●HP／<https://www.mamehico.com/shikoutei/>
 ● @mamehico_shikoutei
 （メンバーシップ：月額1,000円）



トを通じて運営に参画。縁あつて古民家の引継ぎ手を探していた家主と出会い、昭和8年築の邸宅を譲り受けた。近年は骨董店となっていたが、元は大学教授の邸宅。昭和初期の高級住宅の造りの良さが存分に生きた上質な空間のなか、安全・安心にこだわり素材から吟味された珈琲や甘味などを味わうひとときは格別だ。お茶のみの利用からイベント参画ともMAMEHICOの魅力と語る星野さん。時が経つのも忘れるほど心地良い至福の空間が、個々にフィットした「居場所」を創出する。